

もっといいね! が、生まれるまちへ。

無所属・40歳

田村ひろゆき通信

発行：田村ひろゆきとわかりやすい政治をつくる会
〒188-0013 西東京市向台町6-5-4 info@tamura-h.net



いいね! 西東京

主なTOPICS

- なぜ「無所属」を貫くか
- 田無駅南口を教育・文化の拠点にしよう
- 仮庁舎計画、このまま進めて大丈夫？
- 9/1からひばりヶ丘駅周辺が「路上喫煙・ポイ捨て防止地区」に

2018. 10

なぜ「無所属」を貫くか

特定の利益のための政治ではなく、
本当に市民のことを考えた政治を行うためです。

政党や組織に押されて議員になる人はたくさんいます。政治とはそういうものだ、と思っている人も多いと思います。

しかし、特定の組織に支援された政治家は、その組織の利益に反する決定はできなくなります。例えばある補助金を見直そうと考えた時、本当は廃止した方がいいんだけど、自分の支援者にとってマイナスだなぁ…と思ったら、思い切った判断ができません。

私は、政党や組織に依存した政治は行いません。常に市民全体のことを考えて市長・行政と対峙し、公平な視点でジャッジを下していきます。



田無駅南口を教育・文化の拠点にしよう

前回の通信で書いたように、統合庁舎は見通しのない「新たな用地」ではなく、現在の保谷庁舎につくるのが妥当と考えています(田無庁舎には総合窓口機能を残します)。そして、現在の田無庁舎の敷地には、図書館・公民館・市民会館の機能を備えた新たな施設を整備し、教育・文化の拠点にしたいと考えています。

中央図書館・田無公民館・市民会館の3館は、平成35年度の庁舎統合に合わせて整備される予定でした。ところが庁舎統合が10年先送り。図書館と公民館は耐震補強をして使い続けますが、改装のため閉館期間が発生する予定です。市民会館は来年3月で閉館、取り壊されます。新たな拠点が重要です。

田無庁舎の敷地は田無駅から近いという立地の良さを持っています。仕事帰り、学校帰りに気軽に立ち寄れる、市内外から人が集える場所です。そして、現在田無駅南口では、はなバス等が乗り入れる交通広場の整備計画も進められています。田無駅南口は新たなまちの顔となり、西東京市の魅力をぐっと高める可能性を持っています。



上：2011年にオープンした武蔵野プレイス(武蔵野市)



左：現在の西東京市中央図書館

ご支援のお願い

田村ひろゆきは特定の政党・組織からの支援を受けることなく、無所属で活動しています。市民の皆様お一人お一人の力が頼りです。できる範囲でのご支援をいただければ幸いです。

①ポスターを掲示する

右側写真のポスターを現在市内各所に掲示させていただいております。ご自宅の壁等に掲示していただける方がいらっしゃいましたらご一報ください。お問い合わせは携帯(090-9686-4581)またはメール(info@tamura-h.net)にてお願いします。

②駅頭・街頭で通信を配布する

朝夕の市内各駅を中心に、通信の配布を行っています。出勤前の30分だけなど、短い時間でも結構です。

③通信をポスティングする

市内各戸に通信のポスティングを行っています。私自身が配ると同時に、一部業者の方にもお願いしておりますが、まだまだ配れていない地域もあります。ご自身がお住まいの〇〇町〇丁目だけ、等で構いませんのでご協力ください。

④田村の活動を周りの方に紹介する

私の活動を広く市民の皆様にご紹介いただくため、周囲の方に田村をご紹介ください。ホームページ、Facebookでも情報発信中です。「いいね! 西東京」で検索し、シェアしてください。

お問い合わせは携帯(090-9686-4581)またはメール(info@tamura-h.net)にてお願いします。

田村ひろゆき
もっといいね! が、生まれるまちへ。
いいね! 西東京

白井とおる

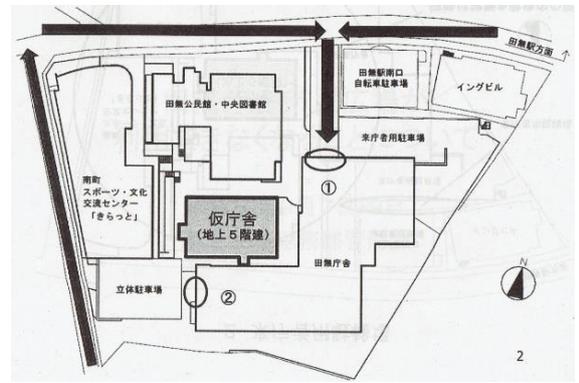
田村ひろゆきのプロフィール：1978(昭和53)年西東京市生まれ。田無向ヶ丘幼稚園、上向台小学校、田無一中、中央大学杉並高校、中央大学法学部卒。元衆院議員秘書、元武蔵野大学職員。2014年12月の市議会議員選挙に初挑戦するも及ばず。その後都内の旅行会社に営業職として勤務。現在は捲土重来を期して活動中。

仮庁舎計画、このまま進めて大丈夫？

今月末から田無庁舎市民広場の解体工事が始まり、来年4月には地上5階建ての「仮庁舎」建設が始まります。市民広場がなくなり、田無庁舎には空地がほとんどない状態になります。整備事業費は18億8400万円。別に移転費用も発生するので20億円前後の事業になり、市民1人あたりざっと1万円が使われます。

私が特に問題だと思うのは、震災時の対応です。2011年の東日本大震災発生時、私は市内にある武蔵野大学に勤務していましたが、まずは建物内から学生・生徒を外へ出し、安全なグラウンドに避難させました。市民広場がなくなれば、市役所の職員と来庁者、図書館・公民館・きらっとの利用者はどこへ逃げればよいでしょうか。代替地として庁舎西側の出口(図の②の部分)外、立体駐車場の南側と市は説明していましたが、明らかに手狭です。

また、災害対応の観点で言えば、災害対策本部は保谷庁舎にあり、今回の「暫定統合」でもそれは変わりません。ところが災害時の指揮を執る市長がいるのは田無庁舎です。市の計画ではこの状態が平成45年度まで続きます。この点も問題だと考えます。



9/1からひばりヶ丘駅周辺が「路上喫煙・ポイ捨て防止地区」に

市内5駅のうち指定が遅れていたひばりヶ丘駅周辺が「路上喫煙・ポイ捨て防止地区」に指定されました。ただ、私は受動喫煙は何も駅周辺だけで起こっているわけではない、と申し上げてきました。例えば左の地図を見ると、ひばりヶ丘北3丁目、4丁目は「防止地区」に入っていますが、地蔵通りを越えて1丁目、2丁目に入ると防止地区ではありません。それも変な話です。

西東京市は健康応援都市を宣言し、丸山市長も熱心に取り組んでいます。この問題でも一歩踏み込み、市内全域、場所に関わらず「歩きタバコとポイ捨ては禁止」というメッセージを出すべきです。



11/18(日)田村ひろゆき決起集会(仮)を行います

当日は田村ひろゆきの想い、政策を直接お伝えさせていただきます。また、連携して活動する森てるお西東京市議会議員や、白井とおる小金井市議会議員などから応援メッセージをいただく予定です。ご予約等は不要です。お気軽にお越しください。

日時:2018年11月18日(日)
16:00~17:00
会場:西東京市民会館
4階 多目的室・竹



はなバスを乗り過ごした話

ある雨の日、田無駅からはなバスに乗りました。私は第3ルート「上向台地区会館」でバスを降りるのですが、その日は車内でメールに集中、私以外に降りる人もおらずバスは通り過ぎてしまいました。じゃあ次で降りるか…と思うと次のバス停「鈴木街道」は直線距離で500メートルも離れているんですね…。もちろん完全に私が悪いんですが、次のバス停があまりに遠い。市の「第4次行財政改革大綱アクションプラン」では、はなバスの運賃見直しが挙げられていますが、バス停位置や「等間隔ダイヤ」の検討等、利便性を高める努力をまずはしてほしいです。目の前をバスが通っても、バス停がなければ乗れません。

田村ひろゆきへの応援メッセージをいただきました



フルート奏者
NPO「Music Beyond」
代表
藤井 香織

『朗らか・聡明・謙虚・正義感』これが、田村ひろゆきさんを表現するために、パッと浮かんだ単語。田村さんとは小中学校の同級生で、中学3年生の時は同じクラスで1年間過ごしました。その当時から、素晴らしく成績優秀だった彼ですが、決して威圧感を与えたり、自分を誇示することなく、優しくみんなをまとめられる存在でした。数年前にトークイベントで一緒させていただいたのですが、朗らかさと、知的でありながら冷たさや難しさを全く感じさせない語り口がとても素敵だったことを覚えています。分かりにくく、少し遠いイメージの政治の世界、でも本当は人任せではいけないのも事実。田村さんは私たちみんなが理解できるように、そして安心して意見交換ができるような環境を作り、街づくりに積極的に参加したくなる環境を作ってくれと信じています。



東洋学園大学
キャリアセンター課長
元 中央大学大学院
戦略経営研究科客員教授
戸山 孝

田村さんを一言で言えば「難しいことをわかりやすく相手の目線で伝え、将来を見据えた的確なアドバイスが出来る人」。

彼と共に武蔵野大学で進路支援をしていた頃、彼はいつも難しい社会の話を多様なたとえ話などを織り交ぜ、学生を決して飽きさせず、また学生からの相談には親身になりつつも高い視座から多角的にアドバイスしていました。彼が関わった学生は皆幅広い視野を持ち、学生時代にも積極的に海外に出るなどアクティブに活動し、現在は皆グローバルに活躍しています。

そんな田村さんが今度は市政にチャレンジします。彼ならば決して住民の目線を忘れることなくより良い西東京市になるよう、市民と議会の間を繋いで活躍してくれると信じています！！



弁護士
一般社団法人
裁判員ネット 代表
大城 聡

政治家にとって最も大切なことは、一人ひとりの声に耳を傾けることだと思います。困っている人、悩んでいる人の声に真摯に耳を傾ければ、今の世の中で何が問題なのか、そしてその問題を解決するために何をすべきかが見えてきます。そのように生まれたものが私たちにとって本当に必要な政策です。政治は遠い世界のことでなく、私たちに身近なものなのです。

田村君は大学時代からの信頼できる仲間です。田村君は、高校生や大学生が政治を体験できる政治家インターンシップを大学生の時に立ち上げ、これまでに多くの若者が政治を身近に感じる機会を作り出してきました。「政治を身近にしたい」という田村君の信念は本物です。この信念を持つ田村君が政治家になれば、一人ひとりの声に真摯に耳を傾ける身近な存在になってくれます。だから、田村君は必ず信頼できる政治家になる、そう心から信じて全力で応援しています。